

今帰仁村第四次総合計画 後期基本計画

－ 概要版 －

後期基本計画の期間

今帰仁村第四次総合計画後期基本計画の期間は初年平成 29 年度から平成 33 年度の 5 年間とします。

将来像

一人ひとりがつながって、活気に満ちた集落（ムラ）となり、“農”の持っている「やさしさ」「恵み」「多面的な豊かさ」を活かしたむらづくりを目指し、将来像を「ムラ・人・農が織りなすゆがふむら・今帰仁」とします。

将来人口

人口の推計については、コーホート要因法を基本としながら、本村の純農村としての性格や規模を踏まえ、さらに農業を中心とした産業振興による雇用の場の創出、子育てしやすい環境づくり、高齢者福祉の充実など、今後の各種むらづくりの施策展開の効果を考慮しつつ、本村の第四次総合計画基本構想の目標年度（2021（平成 33）年度）における将来人口を、概ね 10,000 人と設定します。

むらづくりをリードするプロジェクト

村民健康づくりプロジェクト

住み慣れた地域で健康に安心して暮らせることは、むらづくりの重要なテーマであります。したがって、村民が自らの健康状態を認識し、村民が主体となってスポーツ・レクリエーション活動や生活習慣病の予防、介護予防に積極的に活動できるよう関係機関との連携に努め、地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。

運動公園や地域の集落センター等を活用したスポーツ・レクリエーション活動への支援や定期検診の受診等の促進、地域包括支援センターの活動の充実等を図り、健康・長寿のむらづくりに取り組みます。

各種スポーツクラブの育成、運動公園の利活用や新たな村民スポーツ施設の検討等、村民の健康づくりに努めます。



今帰仁ブランドづくりプロジェクト

本村は、農業を中心に他産業との連携を強化することで、村全体の産業振興を図っていきます。したがって、モノ作りから販路拡大までの支援に努め、農業の 6 次産業化を促進します。加工業や観光業との連携を図り地域の特産物を活用した今帰仁ブランドの開発及び PR に努め、その効果を他産業へ波及させていきます。

そのためには、農業経営体の強化、担い手の育成、リーダーとなる人材育成、異なる業種・分野の人々が交流する組織の設立等に関する支援について検討します。また、地産地消の促進や本村の産業振興に資する企業の誘致、ベンチャー企業の育成等についても検討します。



中心市街地賑わいづくりプロジェクト

本村の中心部に位置する仲宗根地区は村役場をはじめとする行政機関や中央公民館、福祉施設等の公共施設が集積しています。

地区を通る国道 505 号沿いには商店街が形成されており、地区を流れる大井川へ寒水川（ソーリーガー）からのせせらぎが流下し、本村の中心を担う賑わいづくりの拠点地域となっています。

したがって、本地区においては本村の重要な地域商業機能の拠点及び観光拠点として賑わいの場の形成を目指し、周辺環境と調和した計画的な土地利用のもと、本村の中心市街地（マチ）としての顔づくりに努めます。



今帰仁城跡シンボルづくりプロジェクト

今帰仁城跡は大小 10 の郭からなる連郭式の山城で、平成 12 年（2000 年）12 月には世界遺産「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして登録された沖縄北部唯一の遺産です。

今帰仁城跡は昭和 55 年より「今帰仁城跡環境整備事業」により整備を進めています。今後は城跡周辺地域を保全しつつ総合的な整備を推進し、今後とも地域文化の継承・発信や観光振興の拠点機能を担う本村及び北部地域のシンボルとしての役割を強化、充実していきます。また、今帰仁城跡で開催されているグスク桜まつりを中心に県内外への PR を行っていきます。

さらに、村歴史文化センター等の地域文化・交流施設の活用促進を図る等、地域のシンボルとして村民が誇りを持てる空間として活かされていくことが望まれます。



美しい村・活気ある村づくりプロジェクト

本村には、豊かな自然環境と落ち着きのある集落景観が多く残り、映画やドラマ等のロケ地として活用される等、癒しの空間としての魅力を有しています。今後は、その美しい景観の保全・再生・創造に努めるため、地域住民に対して景観に関する助成を実施し、景観形成に関する各種施策に取り組みます。

また、本村が活気ある村として発展していくためには、新たな産業の誘致や育成が必要となります。自然環境との調和に配慮しながら、適切な区域へ企業を誘導する等、計画的な土地利用施策を行うことが重要です。村土の有効利用を図る土地利用について検討を行い、秩序ある産業振興や定住促進に努めます。



北山学園プロジェクト

本村は、保・幼・小・中・高一貫教育「北山学園プロジェクト」を実施しています。教育を核として、今帰仁村の将来を担う子ども達に、地域を愛する心や起業家精神を養い、社会貢献や地域貢献のできる人材を育成していきます。

そのために、各校種間の連携と学力向上を図りキャリア教育を充実させることで、子ども達の夢や目標を応援していきます。

例えば、教育ファーム事業や少年の翼、県外インターンシップ、中高生海外短期留学（中学生：ハワイ、北山高校とミルトン高校の交流）、スーパー講師招聘事業、プロデューサー育成事業等、様々な体験活動を充実させた教育によって、村づくりをリードしていく人材の育成を図るのが北山学園プロジェクトです。

村内 2 箇所の民間保育所の参入と、校種間連携の中心施設として認定子ども園を建築し、保・幼・小の子育て拠点としての環境の整備充実と待機児童の減少を図り、幼児教育から学校教育への円滑な移行を行っていきます。

また、地域のリーダーを育成するために、大学進学への支援や教育環境を整えることで本村にある北山高校を魅力化し、村民や移住者が今帰仁村で子育てをしたいと想える様な環境を整備していきます。



今帰仁村第四次総合計画後期基本計画の体系図 (※赤字は前期基本計画からの変更点となります)

